

平成19年度「専修学校・高等学校連携等職業教育推進プラン」成果報告書

事業名	夏休みを利用した出雲市周辺の専修学校と高等学校連携による高校生への職業教育プラン		
法人名	学校法人 斐川コア学園		
学校名((2)のみ)	出雲コンピュータ専門学校		
代表者	理事長 門田 章	担当者 連絡先	石川知幸 TEL 0853-72-2500
<p>1. 事業の概要</p> <p>ニートの増大、就職後の短期の離職等が大きな社会問題となってきたが、サラリーマン家庭の増加、塾などを含めた教育の長時間化、長期化など、高校生が職業を考える機会、環境は減少している。出雲市周辺の専修学校と高等学校が連携し、これから進路を決定する事を迫られる高校生たちに職業体験の機会を提供する。</p> <p>2. 事業の評価に関する項目</p> <p>①目的・重点事項の達成状況</p> <p>職業教育を終了した高校生のアンケート結果を見ると講座が1日間だけの比較的短いものは楽しんで、3日間程度の講座には内容に興味を持って受講してもらえたらしく評価は良い(アンケートの結果、全員が職業を考える上で参考になった、非常に参考になったと回答)。また、高校などで普段実施しない実習を中心とした職業体験講座は新鮮に受け取られた様である。しかし、受講希望者数については福祉関係のコースと工業系のコースの希望者に大きな差が出た。一般にいわれる高校生の進路希望の通りであるが、受講後のアンケートでは大変好印象を持ってくれたようである。工業系の学校はもちろん、企業も含めて職業への理解を深める努力が必要であることを痛感する。</p> <p>②事業により得られた成果</p> <p>本事業において以下の様な成果が参加団体に残ったと考えている。</p> <p>①参加専修学校ごとに異なるが、職業の厳しさと同時に興味を失わせない短期の職業教育のノウハウ。 ②すでに小、中、高等学校で実施している職業教育との差別化。 ③高校との連携には時間をかけた摺り合わせが必要。また、高校生への認知には定期的な開催が必要。 ④企業の若者への期待の大きさ、職業教育への熱心、且つ協力的な取り組み姿勢の確認。 ⑤出雲市周辺の専修学校と高等学校の連携の実績、経験。</p> <p>③今後の活用</p> <p>島根県専修各種学校連盟では県下の専門学校が連携して平成20年度の事業に企画書を提出するべく取りまとめ作業を進めている。本校もこの企画に参加すると同時に平成19年度事業の成果を活用し、より良い職業教育を目指したいと考えている。このような職業教育機会の提供は個々の職業の面白さ、やりがいなどを理解するだけでなく、理数離れなど、今発生している教育上の多くの問題の解決につながる可能性を持っている。</p> <p>④次年度以降における課題・展開</p> <p>本事業を担当したものとして個別には多くの反省点を持っているが、一般論として、高校側の行事との調整、高校生への周知、カリキュラムの検討にはかなり時間が必要である。また、高校生が参加し易い時期として夏休みを活用することは重要である。このため作業着手を早めに行うこと、また、継続的に行い、高等学校、高校生に認知を広げることが大切なことだと思われる。専修学校側も個々の職業ごとにメリハリをつけ、あまり普段高等学校で手掛けることが少ない、実習を中心とした短期の職業訓練のノウハウの蓄積が必要である。</p>			

3. 事業の実施に関する項目

①職業体験講座、講演会の実施

1) 高校、専修学校、企業による実施委員会を組織し多方面の意見を集約

高校側のニーズ、専修学校側の都合などを調整し職業教育カリキュラムを進めると同時に商工会議所、商工会など企業側の意見を反映させながら事業を進めた。

2) カリキュラムに沿った講座の実施

各専修学校が用意するメニューに従って高校で希望者を募集、夏休みを利用して3日間程度の職業体験講座を受講させた。メニューは高校生にとって難しすぎず、興味を持てる内容になるように配慮し、以下のような内容で進めることを、実施委員会で決定した。

カリキュラム・体験講座等の実施日、実施(受入)学校、定員

カリキュラム・体験講座名	期日	実施(受入)学校名	定員	日数	参加実績
介護福祉士を学ぶ	8月4日	国際医療福祉総合学院	10名	1日	12人
ネットショップ販売を学ぶ	8月6日	出雲コンピュータ専門学校	10名	3日	2人
	8月20日	出雲コンピュータ専門学校	10名	3日	2人
パソコン組立を学ぶ	8月6日	出雲コンピュータ専門学校	10名	3日	4人
	8月20日	出雲コンピュータ専門学校	10名	3日	2人

3) カリキュラムの中で該当の職業経験のある講師を招き講演を行い、該当の職業のやり甲斐、苦労などの具体的な知識を提供した。

4) 商工会議所、商工会の会員企業700社へのアンケートを実施(回収137社)することにより、企業が求めるもの、期待することをまとめ受講生に配布し、高校生と企業との意識のギャップを認識させた。

5) 講座を受講完了した生徒に修了証を発行した。

6) フォローアップの実施

受講後に高校生、高校にアンケートを実施し講座に対する意見、要望を整理した。同時に希望者には出雲コンピュータ専門学校キャリアカウンセラーに受講後も相談できる体制を取っている。

7) 企業からのアンケート結果、受講生のアンケート結果は事業参加校に配布するのみならず、島根県下約40高校に配布し進路指導の参考に利用して頂く予定にしている。

②その他

以下の内容を実施委員会の討議の結果工夫した

1) 夏休み中の各高等学校のイベントとぶつからない期日での講座の実施。

2) 高校生の気質を考慮しての講座実施期間の短縮。

3) 高校生に興味を持てる授業内容、実習の検討。

4) 各高等学校の個別事情を考慮した広報、募集広告の対応。